

企業・組織の価値向上をめざし  
社内のデータ・文書・情報の利活用を支援

## 知識経営のためのナレッジ利活用コンサルティング

ビジネス環境が激しく変化する中、いかに競争力を高め、企業価値を向上させていくことができるかが、持続的な成長に不可欠となっています。

この解決策の一つとして注目を集めているのが「知識経営」です。知識経営は、知識・経験などの人にひも付く知的資産を企業・組織として共有・活用することで、業務の効率化や新たな価値創出につなげていこうとするものです。知識経営の実現には、知的資産が属人化しない仕組みを整えたり、AIなどのデジタル技術を用いて自動化を進めたりする必要がありますが、ここで必要となるのが、共有・活用のインプット（源泉）となるデータ・文書・属性情報（メタデータ）です。

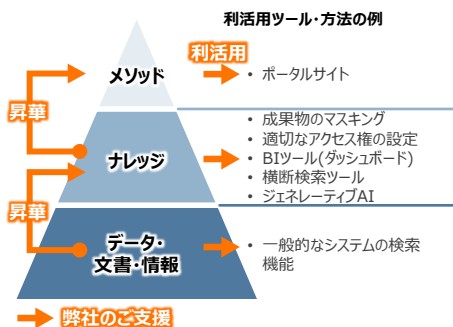
本サービスは、企業内に散在するデータ・文書・属性情報をナレッジとして捉え、効果的な利活用について、検討から仕組みの構築までを支援するものです。これまで多くの企業でデータ利活用やナレッジマネジメントのコンサルティングを通して情報の戦略的活用を支援してきた当社の実績を生かし、貴社の知識経営実現に貢献します。



### 情報の活用効果最大化と 価値向上をめざした仕組みを整備

企業・組織内のデータ・文書・情報を有効に共有・活用できるよう、ナレッジレベル体系に沿ってそれぞれの関連性などを整理。活用効果の最大化と価値向上をめざし、各レベルに適した利活用の仕組みを整備します。

#### ナレッジレベル体系



### コンプライアンスを順守した ナレッジ利活用の実現を支援

個人情報や顧客情報といった機密情報の貴社取り扱い規程にのっとり、どのように活用できるかを検討。アクセス権・法律要件も踏まえてルールを定め、コンプライアンスの順守と、正しく管理されたナレッジ利活用の両立をめざします。



### 多くの導入実績を生かし、効率的な 実行計画・施策立案を支援

当社はこれまで、文書管理、ナレッジ共有に関するコンサルティングを多くの企業に実施してきました。この実績から、どのような文書や情報が企業のナレッジになるか、知見を得てきました。これらを生かして構築したテンプレートなどを活用し、貴社に適した実行計画・施策を効率的に立案していきます。






## ■ こんなお客さまにお勧めします

- ✓ 企業・組織内のデータ・文書・情報をうまく活用できていないため、活用の可能性について検討したいお客さま
- ✓ データ・文書・情報にスムーズにアクセスして生産性を向上させたいお客さま
- ✓ 属人化したナレッジを組織として管理・蓄積することで、人財にひも付ナレッジの消失を防ぎたいお客さま
- ✓ 管理・蓄積されているナレッジを活用して、企業価値の向上につなげたいお客さま

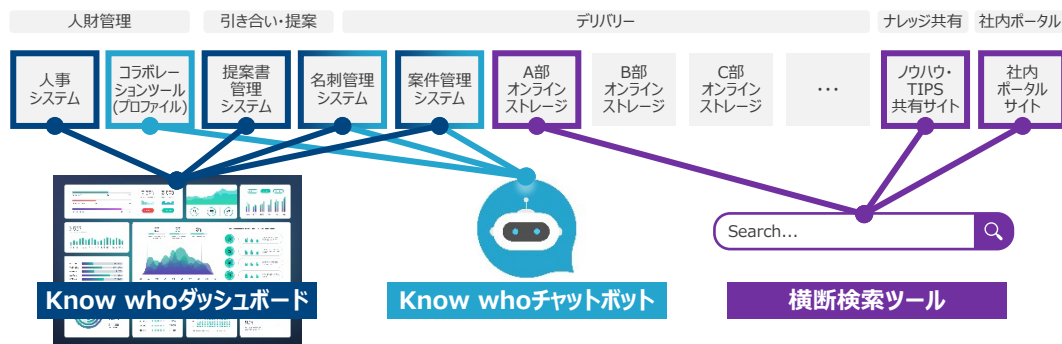
## ■ 本サービスの提供プロセス

本サービスの適用範囲

プロセス	タスク
<b>構想策定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ・文書・情報を利活用することで実現したい企業のあるべき姿を経営目線で捉え、概念レベルで利活用場面や方法をイメージ。取り組むシステムの範囲を整理します。</li> </ul> 
<b>現状調査、 文書・情報の洗い出し</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組み範囲と定めたシステムの役割を意識しながら、システムに保存されているデータ・文書・情報を調査します。</li> <li>構造化データを一意に示すことができる主キー（ユニークキー）を意識して、ほかのデータベースとの連携を検討します。</li> <li>データ・文書・情報をうまく活用できていない場面や理想とする活用ニーズがあるか否かをヒアリングします。</li> </ul>
<b>To Be像の策定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのデータ・文書・情報をどのように関連付けたいか、具体的な利活用場面を想定しながら、データ・文書・情報同士の関連性を整理します。</li> <li>ヒアリングの内容も踏まえ、To Be像を具体的に策定していきます。</li> </ul> 
<b>実行計画の策定</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>To Be像の実現に向けて、施策を検討します。属性情報（メタデータ）の付与、ナレッジ基盤や可視化ツールの導入など、施策実行のための計画を策定します。</li> </ul> 
<b>ナレッジ基盤導入・モニタリング (オプション)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>策定した実行計画に基づきナレッジ基盤の導入を検討します。</li> <li>定着化に向けて、ナレッジ利活用状況のモニタリングを実施します。</li> </ul>

## ■ 弊社の取り組み事例

- 「従業員」「取引先」「プロジェクト」を軸に、誰がどの取引先と接点を持つか、何に詳しいかが検索可能な「ダッシュボード」を作成
- 利用者の都合に合わせて手軽に利用できる対話型ツールとしてチャットボットも作成
- 整備したフォルダー体系を情報として活用した横断検索ツールを導入。電子文書検索時間を削減



## スマートコンテンツマネジメントコンサルティングのご紹介

「知識経営のためのナレッジ利活用コンサルティング」は「スマートコンテンツマネジメントコンサルティング」の一部です。「スマートコンテンツマネジメントコンサルティング」は、電子文書の管理ルールを定める「電子文書スマート管理コンサルティング」、ルール適用後、社内文書や情報をナレッジとして利活用する「知識経営のためのナレッジ利活用コンサルティング」、利活用をより効果的に進めるためのデータマネジメントやガバナンス構築を支援する「データマネジメント整備支援コンサルティング」で構成しています。本サービスは、「電子文書スマート管理コンサルティング」から継続して支援することも可能です。

### スマートコンテンツマネジメントコンサルティング

電子文書スマート管理  
コンサルティング

データマネジメント整備支援  
コンサルティング

知識経営のためのナレッジ利活用  
コンサルティング